



ゆうとちゃんは2540gで生まれました。退院時は2406gでした。退院後1週間健診で2480g、1日当たりの体重増加は10gで少な目でした。また黄疸が強くなっているようだと言われたらビリルビン値は15mg/dlで高めだと言われました。

ゆうとちゃんママの授乳状況は、ママの乳首は短めでしっかり飲めずに搾乳を足していました。乳房は固く搾乳が増えてこないということで、搾った母乳と人工乳を合わせて50mlを6~7回/24時間与えていました。搾乳は5~6回しています。

ゆうとちゃんは割合静かで、よく眠るのでママは安心していたようです。



気になる事は①体重が増えにくい、②黄疸の検査値が高めなことの原因とおもわれること

- 母乳が適切にのめていますか？ 固い乳輪部と短い乳頭では深い吸てつ(乳首をくわえて母乳を飲みこむ事)が難しいかもしれません。また、しっかりとのみとれないと、長く吸い続ける傾向があるようで、1回の授乳に1時間近くもかけていませんか。
- 搾乳回数が少ないようです。しっかりとのめるなら搾乳する必要はありませんが、乳房がずっと固いのはしっかりとのめていないからかもしれません。固さが継続すると、母乳の量は増えてきません。また搾乳回数が少なければ、母乳分泌に関するホルモンが徐々に働かなくなる心配があります。最低8回搾乳しましょう。
- 少量ずつ回数多くあげましょう。赤ちゃんの胃は小さく、また人工乳が多いと、より消化に時間がかかります。2時間に1度、1日10~12回くらいの授乳が普通です。
- ほしい合図を見逃していませんか。泣くまでまたないようにしましょう。特に、黄疸が強くなると、活気がなくなりねむりがちになります。授乳のときは温かくくるまないようにしましょう。
- 基本のよい授乳姿勢と抱き方を保ちましょう。
- 赤ちゃんの食欲にもよりますが、現在の体重からカロリー計算をすれば、1日400mlくらい必要です。40mlを10回か、50mlを8回です。

**ためしてみようー母乳の流れをよくすること**

母乳の流れがよくなると、赤ちゃんは眠らずに口を動かします。

- 乳房を支えている手を胸壁の近くまでもっていきます。赤ちゃんの口の動きが止まったら、ささえている親指と4本の指で、しっかり圧迫します。口がうごいている間は圧迫をやめないこと。繰り返し圧迫するが、圧迫する位置を変えるように少しずつずらしてみます。
- 口がうごかなくなったら、反対側を授乳し同様に繰り返します。

### 1週間後のゆうとちゃん

重増加は1日30g、排便は1日3回になり、搾乳と人工ミルクは合計1回40mlで10回授乳しています。搾乳はあまり増えていませんが、1回30mlを8回しぼっています、授乳後は少し軽い感じが出てきて、50mlで残す事が出てきたので減らしました。

黄疸の心配もなくなりました。

参考文献 Breastfeeding Answer Book LLI

お誕生おめでとう！



みんな おおきく  
なあれ…



無断転載禁止